

「相手に伝わる話し方」編

就職活動中、エントリーシートの提出時や面接を受けている時に、「これ…伝わっているのかな？」と覚えることがありませんか？

今回は「相手に伝わる話し方」として、意識して欲しい「3つのポイント」をお話します。

◆Point1 【結論から言う】

「何を伝えたいのか」最初に伝え（宣言し）ましょう。

◆Point2 【一文を長く続けない】

書くときや話をするとき、接続詞を多用して一文が長い文章とならないように。接続詞の使用は1回に絞る。

◆Point3 【型を使う】

様々な型（テンプレート）がありますが、ここではプレゼンテーションでの説明方法の基本「PREP法」を紹介します。

- ・Point（結論） 「結論から言うと～」
- ・Reason（理由・根拠） 「その理由（根拠）は～」
- ・Example（具体例・エピソード）
「具体的には（もう少し詳しく言いますと）～」
- ・Point（まとめの結論） 「このことから～です。」

相手に伝わる話し方＝聞いている人の視点に立った話し方ともいえます。

Point3は、「結論」はざっくり、「理由・根拠」はしっかり、そして「具体例・エピソード」で根拠の補足を、そして「まとめの結論」で説得力アップにつなげてください。

面接時の応答や自分の話がしっかり相手に伝わっているのか気になる方は、大阪新卒応援ハローワークまで是非、お越しください。